小松製瓦株式会社

JISマーク表示製品認証（桟瓦・のし瓦）

〒923-0061 小松市国府台5丁目29-1
TEL.0761-47-2219(代) FAX.0761-47-0004
URL:http://www.komatsu-kawara.or.jp
E-mail:info@komatsu-kawara.or.jp

QC08J0112　CM021

このパンフレットは、環境に配慮して「再生紙」「植物性大豆インキ」「水なし印刷」で作成しています。

■安全に関するご注意

●粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。

●寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。

●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

■製品に関するご注意

●粘土瓦は天然原料を使った自然素材であるため、下記の要因が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく粘土瓦製品としての一般的性質であり、屋根材としての品質上の問題はありませんので安心してご使用ください。

●色ムラ／粘土成分の違いや、焼成窯内雰囲気の変化により微妙な色ムラが発生している場合があります。

●ネジレ・寸法／焼き物特有の若干のネジレ、寸法のバラツキにより施工時に瓦と瓦の間に若干の隙間が発生することもあります。

●貫入

陶器瓦（釉薬瓦）は貫入（かんにゅう）と呼ばれる表面亀裂が発生する場合があります。これは陶器製品特有の現象で生地を焼いて焼結させる場合、粘土と釉薬の収縮率の違いにより釉薬表面に細かい亀裂が発生します。ただし、これは製品生地までの亀裂ではなく、釉面のみの亀裂のため、品質（漏水・強度等）には問題ありません。

●ピンホール

陶器瓦（釉薬瓦）には釉薬面にピンホールと呼ばれる小さなへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物（木片・小石等）などが燃焼して発生するものですが、品質（漏水・強度等）には問題ありません。

●表面の汚れ

施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合があります。また、住宅の立地条件により瓦表面に緑藻類などの汚れが付着することがありますが、屋根材としての品質・性能を損なうものではありません。

●コケ・カビ

日当りの悪い場所、湿度の高い場所に施工された瓦は、「コケ」や「カビ」が発生することがあります。これは瓦表面層に発生しているものであり、屋根材としての品質・性能を損なうものではありません。

●標準屋根勾配及びその流れ長さは下記の通りです。

標準屋根勾配	3.5／10	4.0／10	4.5／10	5.0／10	5.5／10	6.0／10
その流れ長さ	6m	8m	10m	12m	15m	17m

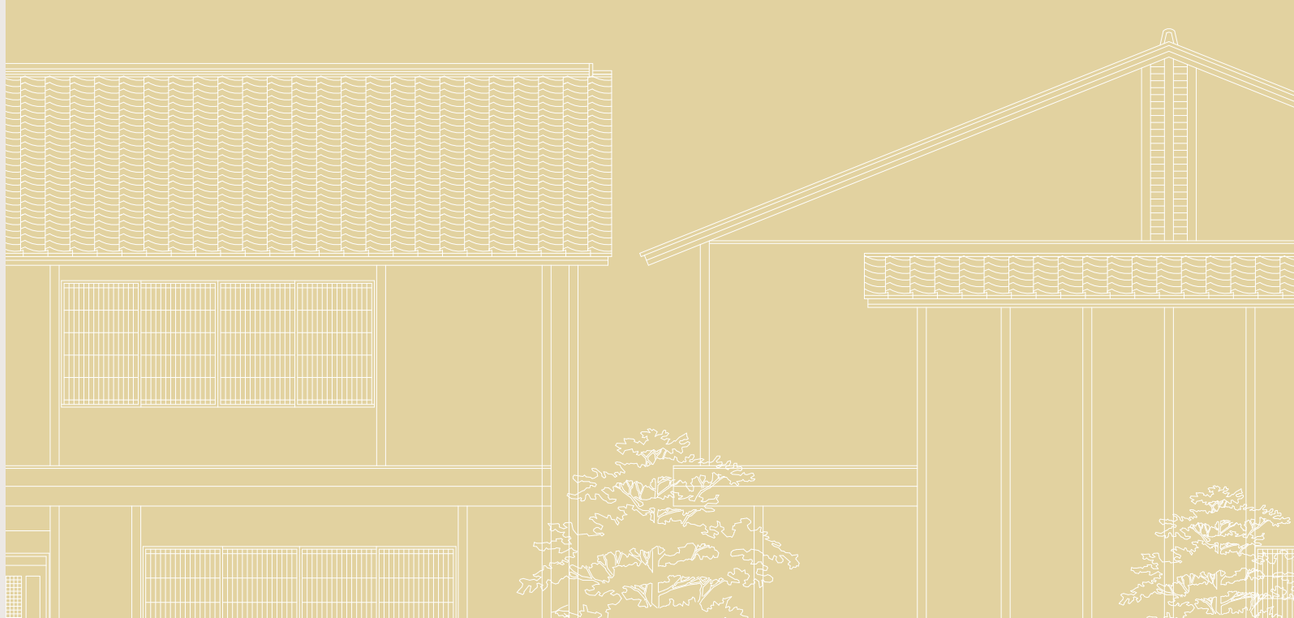
（参考）当組合が推奨する標準屋根勾配：4.5／10

取　扱　店

（2017. 5）

KOMATSU ROOFING TILES

小松瓦の先進の技術と、厳しい品質管理。
洗練された優雅な表情は、快適で風格ある住空間を創ります。



KOMATSU ROOFING TILES

European Style

屋根材として最高の機能を持つ瓦を
スマート&シンプルに演出します。

住まいへのニーズが多様化している現在、「APIA」「Frea」はスマートでシンプルな仕上がりで、和風から洋風まで幅広い建築デザインへの対応を可能にしました。しかも、セラミックス特有の驚異的な耐久力をはじめ、JIS規格をはるかに超えた品質追求で、これまでの屋根材以上の最高の機能を持っています。「APIA」「Frea」は屋根全体を軽量化し、伝統色から新色まで多彩なバリエーションを備えた新しいスタイルのKAWARAです。

アピア使用

アピア使用

フレア使用

フレア 一体袖使用

フレア使用

KOMATSU ROOFING TILES

Japanese Style

小松瓦

洗練された優雅な表情は快適で風格のある住空間を創ります。

瓦は日本住宅に欠かせない住宅の要です。日本の四季には美しさとともに厳しい自然の力が潜んでいます。千年以上にもわたって風雪に耐えてきた建築物が示すように、瓦は耐久性に優れた屋根材です。長い年月にも変わらぬ確かな品質は、常に厳しく製品を見つめることから生まれています。私たちは一枚一枚に熱い視線と情熱をそそぎ、変わらぬ品質と信頼を守り続けています。

小松瓦はより強くより長持ち

両面施薬(耐摩耗性能)

小松瓦は施薬を掛けて、1,200℃で焼成しております。このため塩害、凍害によるダメージを大幅に軽減し、高い耐摩耗性で腐食による住宅への影響を防ぎます。

項　目	当社値	JIS規格
最 高 温 度	1,200℃	
曲げ破壊荷重	2,500N以上	1,500N以上
吸　水　率	7%	12%以下

■瓦の谷(防水性能)
小松瓦は雨水の逆流を防ぐように凹凸の水返しを組み合わせて施工しますので、雨水の浸入がなく雨漏りの心配がありません。

■ひっかけ(安全性能)
小松瓦は瓦材の突起物による「ひっかけ」を強化してあります。このため外部要因による瓦のずれを防止し、地震や台風に強い安全な屋根を作ります。

■瓦の重なり(耐風性能・耐水性能)
小松瓦は瓦を重ねるように施工してありますので、台風などによる大雨や強風でも、瓦のはがれや雨漏りなどに強く安全で丈夫です。

■和形瓦
波形のカーブは風や雨の巻き込みを防ぎ、瓦と野地板との間に筋状の空間を生み出し、十分な換気機能を作り出します。このため夏は涼しく冬は暖かい快適な住空間が生まれます。

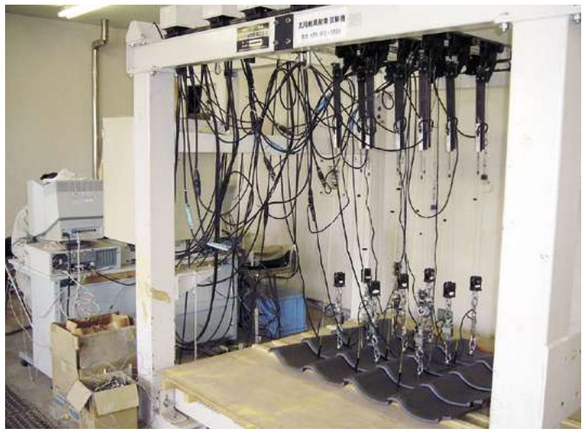
防災瓦

かみ合わせロック構造により、
耐風・耐震効果を発揮します。

耐風圧性能試験

小松瓦は強力な「かみ合わせロック構造」で強風試験
(基準風速38m/s)にも合格。
確かな耐風圧性能を立証しました。(ガイドライン施工)

近年、日本には大型台風が上陸し大きな被害を与えています。その強風が家屋に与える被害は、地域、建物の高さ、屋根の勾配などによって異なりますが、一般的に屋根瓦には強風に対して、風が吹き付ける力(外圧)と瓦を巻きあげる力(内圧)の両方の大きな力が働きます。
小松瓦は"屋根全体をひとつの瓦"というコンセプトから生まれた「かみ合わせロック構造」を採用していますので、大型台風を想定した基準風速38m/s(平均屋根高さ12.0m)の耐風圧試験にも瓦のズレや飛散、落下などがなく(ガイドライン施工)安全で安心の耐風圧性能を確保しています。



オートメーションライン

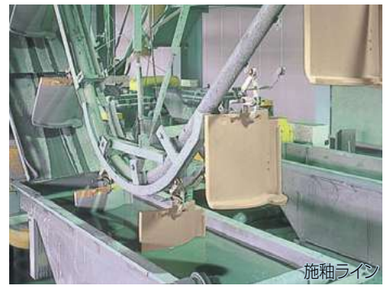
厳選された原土をブレンドし、最適な粘性・粒子で各工場へ供給する原土処理施設に始まり、成形・乾燥・施釉と各工程はオートメーション化されています。均一な品質を保ちながら安定供給を可能にしたこの生産ラインは、その着実で確かな歩みとともに、JISマーク表示製品認証(桟瓦・のし瓦)、またISO9001:2008認定の工場として、安心で信頼の製品を生み出す確かな礎となっています。

製造ライン

原土処理施設

原土処理施設

成形ライン


施釉ライン

焼成ライン

■桟瓦

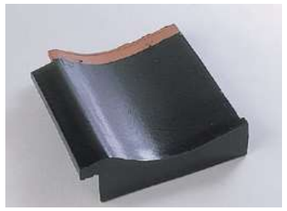
■7分桟瓦

■雪止瓦

■7分雪止瓦

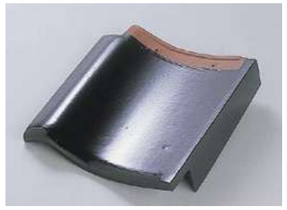
■万十軒瓦(羽口)

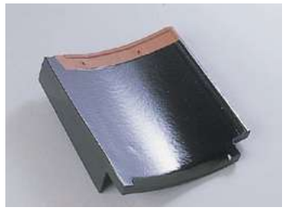
■万十唐草軒瓦


■一文字軒瓦

■万十切隅右(大)

■万十切隅左(小)


■袖瓦右(大)

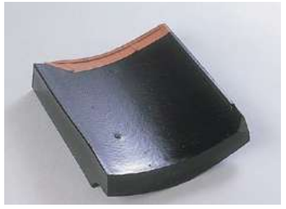

■袖瓦左(小)

■紐付袖瓦右(大)

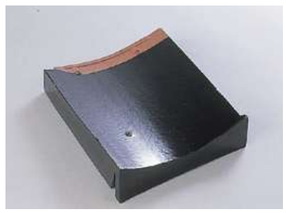
■紐付袖瓦左(小)

■車袖(紋付袖瓦)右

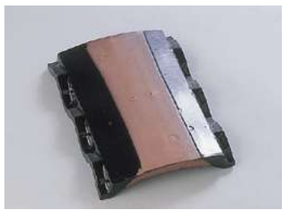
■万十角瓦右(大)


■万十角瓦左(小)

■一文字角瓦右(大)


■一文字角瓦左(小)

■のし瓦


■松川のし

■紐丸瓦(丸冠) 5寸・6寸

■角桟伏間瓦(平冠)

■棟素丸瓦 5寸・6寸

■棟巴(跨巴)瓦面戸付［地跨巴］

■隅巴瓦

■6寸丸止め(丸端)

■7寸カエズ一文字

■7寸カエズ跨鬼

■覆輪三ッ切り跨鬼(丸三ッ切)

■覆輪跨鬼8寸(丸くら8寸)

■覆輪隅鬼(丸隅鬼)

■覆輪降鬼(丸座鬼)

■経の巻三ッ切瓦跨鬼(御所三ッ切)

■経の巻跨鬼(6～9寸)［御所くら鬼］

■経の巻隅鬼(御所隅鬼)

■経の巻降り鬼(御所座鬼)

■立物7寸(花形)

■下りハフ(平)

■アピア 軒瓦

■アピア切隅

■和型三角冠振

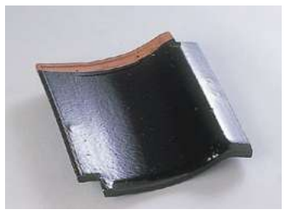
■三角冠振隅止(かっぽん)

■和型三角冠振止(ひもなし)

■三角冠三ッ又

■目戸付箕甲羽口左

■目戸付箕甲羽口右


■ニノ平瓦左

■カブセ尻掛

■フレア桟瓦

■フレア軒瓦

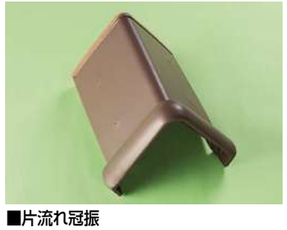
■一体袖(大)

■一体袖(小)

■一体角(小)

■フレア雪止

■フレア桟調整瓦

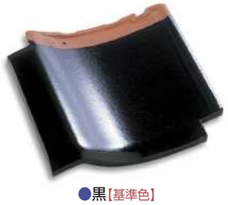

■片流れ冠振

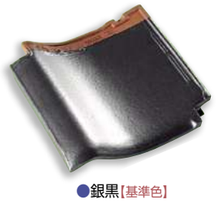
COLOR VARIATION

新たな感性は屋根に、優雅で知的な表情を与えます。

新しい都市空間、新しいライフスタイル、そして新しい住まいづくりを目指して、
豊富なカラーバリエーションはあらゆる建築物を、個性的で洗練された表情に彩ります。

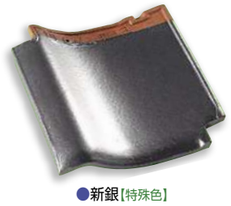
●J型

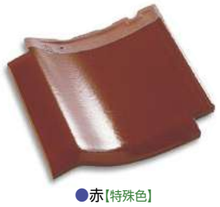

●黒【基準色】


●銀黒【基準色】

●マットブラック【基準色】

●ライトブラウン【基準色】


●新銀【特殊色】


●赤【特殊色】

●古代赤【特殊色】

古代赤
趣をだすため、色むらをつけてありますので、発注の際はご確認ください。

●フレア

●メタリック【基準色】

●ライトブラウン【基準色】

●マットブラック【基準色】

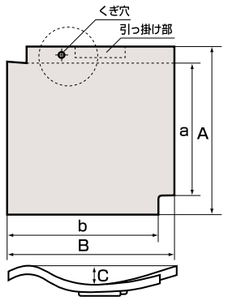
●ライトイエロー【特殊色】

●ライトレッド【特殊色】

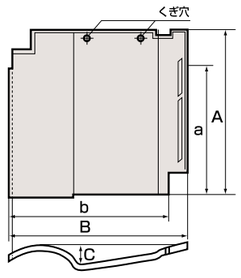
※商品の色は印刷の性質上多少異なることもありますので了承ください。

■桟がわら寸法

形状による区分	寸法による区分	寸法 mm						参考
		長さA	幅B	働き寸法		許容差	谷の深さ(山の高さ)C	3.3㎡当りのふき枚数(概数)
				長さa	幅b			
J型	53A	305	305	235	265	±4	35以上	53



形状による区分	寸法による区分	寸法 mm						参考
		長さA	幅B	働き寸法		許容差	谷の深さ(山の高さ)C	3.3㎡当りのふき枚数(概数)
				長さa	幅b			
フレア	53A	305	305	235	265	±4	33以上	53



第5工場
（平成18年7月竣工）

■会社概要

■商　　号／小松製瓦株式会社
■所 在 地／石川県小松市国府台5丁目29−1
■設　　立／昭和43年3月1日
■資 本 金／87,500,000円
■設　　備／トンネルキルン3基
■生 産 量／月産190万枚
■従 業 員 数／40名
■主な販売先／石川、富山、福井、新潟、山形、京都、滋賀

■沿　革

昭和43年3月1日 ●池田清隆製瓦所(明治7年創業)と池田利隆製瓦所(昭和26年創業)及び山本製瓦所(昭和2年創業)の代表者3名による合同出資にて設立。
昭和43年4月 ●近代化工場建設
昭和43年5月 ●49判用第1号トンネルキルン完成月産25万枚
昭和50年4月 ●オートメーション一貫設備による日本海側随一の近代化工場建設
昭和50年6月 ●56判用第二号トンネルキルン完成月産40万枚
昭和51年3月 ●販売部門独立に伴い販売会社設立。(小松製瓦株式会社)
昭和54年1月 ●第一号トンネルキルン改造単品(棟瓦)生産の開始月産65万枚
平成 3年1月 ●国府台工業団地にコンピュータ制御による桟専焼工場(現第2工場)、原土配合工場(現第1工場)を建設し本社を同団地に移転
平成8年11月 ●53判A日本工業規格表示認定工場に指定
平成11年5月 ●国府台工業団地に役瓦、軒瓦、棟瓦の専焼工場を建設。全国随一の原土配合から桟瓦、役瓦棟瓦の一貫生産工場を完成。月産150万枚。
平成14年4月 ●ISO 9001:2000 認証取得
平成18年7月 ●本社より約200m離れた国府台工業団地内に第5工場竣工。月産190万枚に増産。
平成19年12月 ●JISマーク表示製品認証(桟瓦・のし瓦)
平成22年2月 ●ISO 9001:2008 認証取得
平成26年11月 ●小松協栄瓦株式会社に商号変更
平成27年12月 ●販社(小松製瓦(株))と合併し、小松製瓦(株)に商号変更

■広がる販売ネットワーク